



河野内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)の北方領土視察について

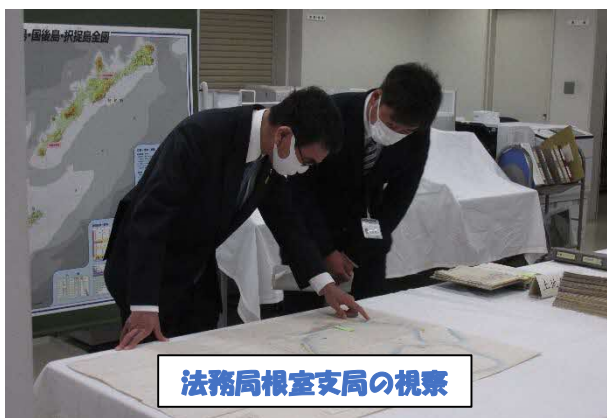
9月27日、河野 太郎 内閣府特命担当大臣が根室地域を訪問しましたので、その概要をお知らせします。

1 関係団体、元島民等との意見交換

- 大臣は北海道や根室管内1市4町の首長、関係団体の方々からの要望書を受け取り、それぞれの要望に耳を傾けておりました。
- 今後の外交交渉や北方墓参、若い世代に対する啓発などについて元島民や後継者と意見交換を行いました。
- 大臣は、「しっかりと日露交渉を続けてまいりたい。次の世代への引き継ぎについても、SNSなど新しいメディアを使いながら精力的に取り組んでまいりたい」と述べたほか、交流等事業の再開に向け、新型コロナウイルス感染症対策はしっかりやっつけていかなければならないとの考えを示されました。



元島民等との意見交換



法務局根室支局の視察

2 法務局根室支局の視察

- 大臣は釧路地方法務局根室支局の視察を行いました。
- 四島の登記簿がしっかりと残っていることを確認し、「国後島から職員の方が相当頑張ったこのような書類を持ち帰ってきたという歴史を世の中にもっと知ってもらいたい」との思いを述べておりました。

3 北方領土の視察

- 納沙布岬から北方領土を視察しました。
- 当日は小雨混じりの天候でしたが、納沙布岬からは歯舞群島の貝殻島の島影や灯台を見ることが出来ました。
- 大臣は記者団に「北方領土問題を早期に解決し、政府として平和条約交渉進めていく」旨の強い思いを述べておりました。



ニ・ホ・口の視察